

氏名	森 田 恭 平
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 603 号
学位授与の日付	昭和61年3月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系神経精神医学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	扁桃核発作の二次全汎化における無名質GABA系の抑制的機能 — GABA 作動薬脳内局所注入法を用いた実験的研究 —
論文審査委員	教授 森 昭胤 教授 庄盛敏廉 教授 大田原俊輔

学位論文内容の要旨

扁桃核発作の二次全汎化における無名質の役割を、以下の方法を用いて検討した。扁桃核キンドリングを完成したネコおよびラットに、 γ -アミノ酪酸(GABA)受容体刺激薬であるmuscimolまたはGABAトランスアミナーゼ阻害薬であるgabaculineを脳内微量注入して、抗けいれん効果を調べた。さらにラットの無名質にgabaculineを注入し、その後の脳部位別GABA濃度変化を経時的に測定した。抗けいれん効果は、無名質内注入時には発作の全汎化が遅延するか全身けいれん発作が部分発作へ逆行した。扁桃核内注入時には後発射誘発閾値の一過性上昇を認めた。前者の発作全汎化に対する抑制効果は、無名質と前頭部皮質でのGABA濃度増加と経時的に一致していた。また、後者の後発射誘発閾値の上昇効果は、扁桃核でのGABA濃度増加と一致していた。以上の結果より、無名質GABA系が扁桃核発作の二次全汎化を抑制的に制御していると考えられる。

論文審査の結果の要旨

本研究は扁桃核キンドリングを行ったネコ及びラットについて、扁桃核発作の二次全汎化における無名質の役割を検討し、無名質GABA系が扁桃核発作の二次全汎化を抑制的に制御していることを明らかにしたもので、扁桃核発作機構の解明に重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。